

# 地域のつながりフォーラムの開催（稲城市）

- 市が、生活支援体制整備事業等を通じて描く将来像のイメージを共有するとともに、地域の支え合いの現状を確認することを通じて事業の進捗を確認するもの。  
(平成27年度に協議体を発足させた際にフォーラムを企画したものの時期尚早との意見から実現できなかった。)
- 圏域ごとに各地区の第2層協議体から支え合いに関する取組の現状報告に加え、支え合いの発展を促すために、地区を超えて参加者同士が交流・情報交換するグループワークを実施。
- グループワークでは、第1層協議体のメンバーが各班の進行役になり、フォーラム全体の成功に貢献。
- フォーラムの企画の原案、事務的な調整は生活支援コーディネーター5人を中心に構成される協議体連絡会が担当。

## 令和元年度の日時、場所

日時: 令和元年11月26日(火)  
13時30分～16時  
場所: 稲城市地域振興プラザ 4階  
大・中・小会議室



## プログラム内容

内容	講師等
開会あいさつ	自治会連合会
高齢化を支える地域づくり(稲城市の取組)	工藤 高齢福祉課課長
各地域のつながり 活動報告 ひらお(坂浜・平尾) もむら(大丸・東長沼・百村) こうようだい(向陽台・長峰・若葉台) やのくち(押立・矢野口)	各地区の ・生活支援コーディネーター ・第2層協議体メンバー
「私たちの地域の小さなつながり」について話そう	7人×8班

## 参加者のアンケートから

- ◆ 思っていた以上に色々な仕掛けがあり、つながりを作っているのだと思った。興味深い仕組みもあった。
- ◆ 支え合うことの大事さを知った。
- ◆ 自分の地区に必要なこと、自分にできることを考えてみたい。
- ◆ 専門職として何が出来るのかを考えるきっかけになった。
- ◆ 男性が参加しやすいプログラムを知れた。
- ◆ 若い人とのつながりがもっと必要だと感じた。
- ◆ 情報交換の時間が足りなかった。
- ◆ 障害がある人や子育てしている方の話題がさらに出るとよい。



令和元年度のグループワークの様子(参加者60名)



押立地区のパトロール